

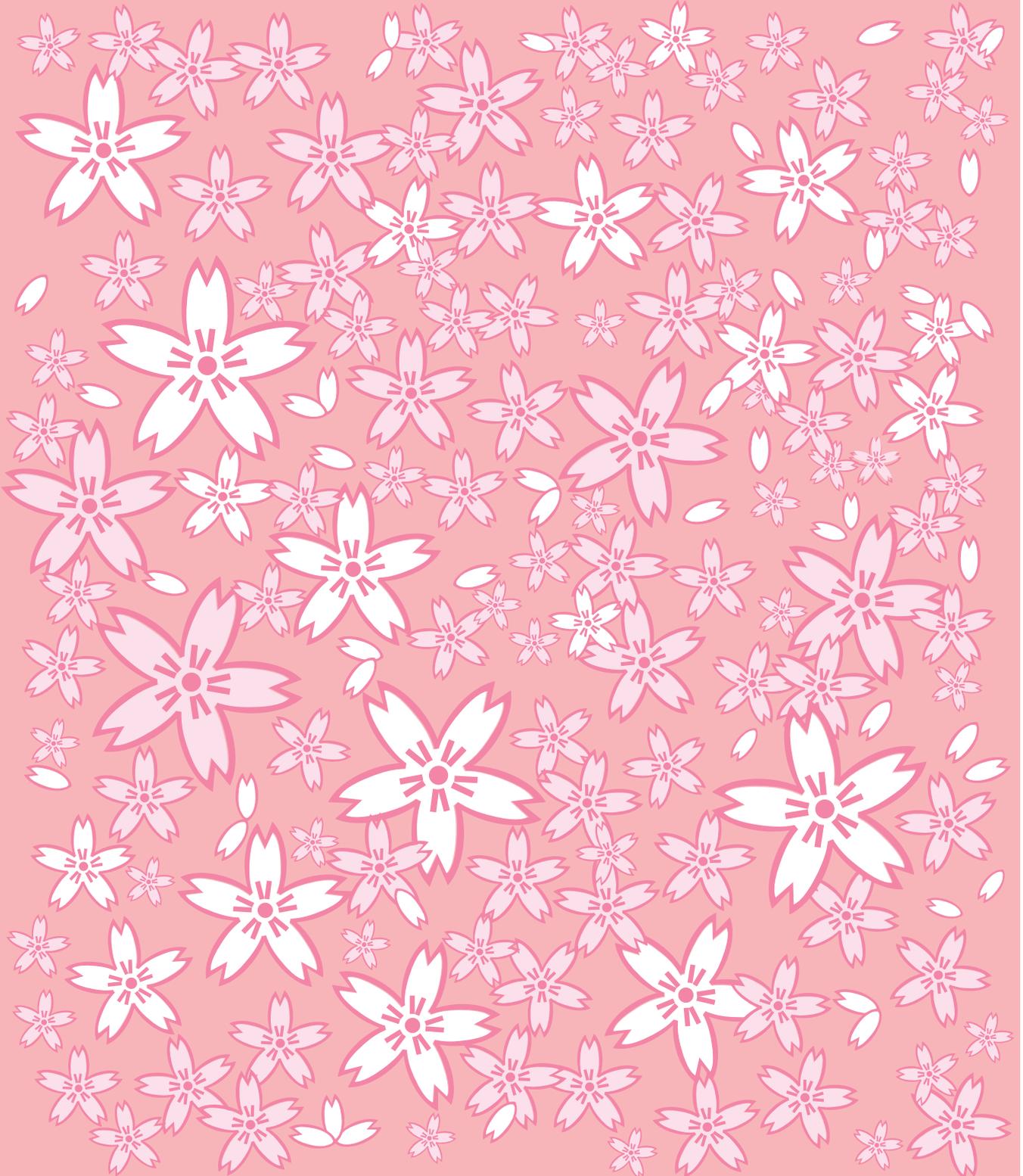
# 会報

春

No.161

2013.4

一般社団法人 北海道電業協会



目 次

北海道の冬と「当たり前」 .....北海道産業保安監督部長 清水 篤 人...	1
平成25年電気関係賀詞交歓会.....	2～3
法人職務執行者就任ご挨拶 オホーツク圏電業協会 会長 山本 義 明...	4
技術講習会「電気設備技術者のための施工要領」 札幌会場 北海道電気会館.....	5
釧路会場 釧路市交流プラザさいわい.....	6
電設業関連四団体懇談会.....	7
ーシリーズー 1 / 212だより ・再生可能エネルギー推進都市～稚内市 .....稚内市長 工 藤 広...	8～9
・農に学び、食を活かした健康のまち～今金町 .....今金町長 外 崎 秀 人...	10～11
電気設備施設見学会.....	12
現場からこんにちは.....	13
分離発注訪問記.....	14
ーシリーズー 「私のいちおし」 島津電設(株) 代表取締役 嶋 津 博.....	15
ーシリーズー 「ビジネスマンはこれを読め！」 (株)久住書房 社長 久 住 邦 晴.....	16
「お知らせ」 平成25年度電気工事施工管理技士受験準備講習会 1級学科・1級実地.....	17
平成25年度登録電気工事基幹技能者認定講習会.....	18
登録電気工事基幹技能者講習修了証更新手続きについて.....	19
業界だより、理事会.....	20
三役会・委員会報告.....	21～22
事務局日誌.....	23
編集後記	



# 北海道の冬と「当たり前」

北海道産業保安監督部長

清水 篤 人

昨年7月末から約30年振りに北海道勤務となり、久し振りに北海道で冬を過ごしました。

この冬道内は例年にない豪雪で日々の除雪等に変な思いをされた皆様も多いのではないかと思います。

30年ほど前、初めての北海道生活で豪雪地帯の滝川の棟割り長屋に住んでいた頃は、秋に暖房用の石炭を石炭小屋に確保し、窓枠には屋根からの落雪に備え板をはめ、長い冬になれば、来る日も来る日も除雪に追われ、週に1度は石炭ストーブの煙突を全部外しての煙突掃除と春をひたすら待ちながら過ごしていました。

最初は除雪もスコップやスノーダンプの使い方もままならず、心配したお隣さんから親切にコツを教えていただきました。冬の厳しさを共有するからこそ、私のような新入りにも多くの方が優しく接してくれ、そして、梅や桜が一度に咲き、木々の緑は急に濃さをまし目にまぶしい緑の季節がやってきた時の美しさや喜びが大きくなることも実感しました。

以来、北海道の本当に心優しい皆さんと厳しい冬も含め素晴らしい自然が大好きになりました。

さて、北海道では、厳しい冬であったとしても多少のトラブルはあるものの、利用者からみると道路や鉄道、航空機といった交通機関をはじめ電気、ガス、水道といった多くの社会インフラも殆ど問題なく機能することが当然で「当たり前」のこととってしまっているのではないのでしょうか。

しかし、よく考えてみれば、豪雪や厳しい寒さを前提に様々な備えや除雪機械の高性能化等があるにしても、社会インフラが当然のように機能することが「当たり前」と思えるよう、24時間、猛吹雪の厳しい環境の中であっても「当たり前」で

はない厳しい業務を多くの関係者の方々が黙々と続けていただいているお陰だと心から感謝しています。

この冬も、暴風雪による飛行機の欠航や鉄道の運休等もありましたが、利用者の多くの方が大変困ったといいつつ、除雪作業や復旧に携わる方のご苦勞に感謝されている報道を見聞きすると、厳しい冬を生き抜いてこられた北海道の皆様の優しさや暖かさを感じます。

大変重要な社会インフラである電気についても、昔と比べ停電も極めて少なく必要な時に質の高い電気が使えて「当たり前」と利用者の皆さんの多くは思っておられるのではないのでしょうか。

しかし、電気は発電、送電、配電そして、電気設備の設置、保守、管理等に携わる多くの皆さんの高度な専門知識と誇りに基づいた「当たり前」ではない努力によって支えていただいているものと思っています。

また、発電用の燃料等の調達から使用される電気設備までとてつもなく長く多くの方が関わるチェーンの1カ所でも問題があったり、適切な保守管理、更新が行われなかったりすれば電気設備は機能しないものです。

電気が「当たり前」に使えるのは、多くの電気のプロの皆さんが誇りを持って黙々とその役割を果たされているからに他ならず、決して「当たり前」ではないことに取り組まれているからこそだと思います。

北海道電業協会加盟各社の皆様、関係者の皆様が電気設備のプロとして「誇り」を持って長い間続けてこられた結果、利用者の方から電気が安全に使えて「当たり前」と思ってもらえていることに心から敬意を表し、皆様のご安全をお祈り申し上げます。

## 平成25年電気関係賀詞交歓会



挨拶 佐藤会長

恒例の上記3団体による「平成25年電気関係賀詞交歓会」が、1月10日札幌グランドホテルにおいて、多数のご来賓と3団体の会員合わせて約340名が出席して開催された。

初めに主催3団体を代表して(社)日本電気協会北海道支部の佐藤会長が挨拶された。

佐藤会長は、まず、日頃から電力という国民生活や産業に不可欠なエネルギー供給に尽力されていることに対するお礼を述べられてから、最近の経済情勢について触れ「昨年は円高、デフレの進行により景気回復が遅れ、厳しい経済・産業活動が続いた。その中で、東日本大震災の復興に全力を注がれたが、道のりは遠く、今後も引き続き、国、関係機関、そして我々も、それぞれの立場で支援をしていく取組みが必要となる。さらに、電気事業を取り巻く環境を見てみると、福島第一原子力発電所の事故により、全国の原子力発電所が

日時 平成25年1月10日(木)11時から  
場所 札幌グランドホテル2階  
「グランドホール」

(社)日本電気協会北海道支部  
北海道電気工事業工業組合  
(社)北海道電業協会

従来にも増して安全性の確保が求められることとなり、一時は全国の原子力発電所の稼働が停止となった。今後も原子力発電所の再稼働が困難な場合は、慢性的な電力不足に陥るとともに、電力価格の上昇や産業の空洞化、雇用問題など、国力に大きな影響を及ぼすことが懸念される。我々としては一日も早い再稼働が望ましいと考えているので、皆様のご支援を賜りたい」との考えを述べられた。

続いて、昨年9月に政府が決定した「2030年代に原子力発電所の稼働をゼロ」とする革新的エネルギー・環境戦略について「国の中長期的なエネルギー政策の全体像を示すエネルギー基本計画の策定は大きく遅れている状況にある。日本の将来を左右するエネルギー政策については長期的な視野に立ち、責任を持って慎重な議論を進めていくことが大変重要であり、我々は原子力・エネル



ギー政策の議論を注視し、対応していきたい」との考えを強調された。

節電協力については「泊原子力発電所の再稼働は、いまだかなわず、道内では昨年夏の電力需給が厳しいことから政府の要請を受け、節電協力をお願いしたところ目標を達成することができ、大変感謝しております。しかしながら、この冬においても昨年夏に続いて、節電協力と計画停電回避緊急プログラムの契約をお願いしています。皆様にはご不便とご迷惑をおかけしますが、ご理解いただきたい」と重ねてお願いされた。

次に政権交代について「昨年12月の衆議院選挙において、民主党政権から自民党を中心とする政権へ交代した。安倍新政権は、発足に伴い、積極的な金融、財政政策と成長戦略により、景気回復に全力で取り組む考えを表明し、早くも市場では円安が進むとともに株価が上昇している、今後、国内経済の回復と山積みする課題に向けて力強い取り組みが進み、エネルギー政策についても、新政権のもとで、地に足のついた議論が進むことを期待したい」と景気回復に明るい希望を述べられた。

最後に「今年も大変厳しい船出となりますが、



乾杯 尾池理事長

安心安全な電気の供給は我々電気関係業界の使命でありますので、この難局を皆さまと力を合わせて乗り切っていきたい」と挨拶された。

この後、北海道電気工事業工業組合の尾池理事長の乾杯で交歓会が始まり、会場では景気回復や企業業績アップを願い、あちこちで名刺交換や歓談する姿がみられ、和やかな雰囲気での時間の経つのも忘れるほどの賑わいであった。

最後に当協会の吉川会長の締めでお開きとなった。



お開き 吉川会長

# 就任ご挨拶



オホーツク圏電業協会  
会長

## 山 本 義 明

この度、本年1月の第39回通常総会におきまして凶らずも会長という重責を担うこととなりました。今、その任の重さを考えますと身が引き締まる思いと、緊張と不安でいっぱいであります。

皆様のご協力のもとに、精一杯その職責を果たせるよう努力する所存であります。宜しくお願ひ申し上げます。

我々の業界を取り巻く環境には、平成不況、地震災害など業界を苦しめる要因は多々あります。

ピーク時の半分にまで縮小している建設投資額。公共工事の減少により多くの建設業が悲鳴をあげているのが現状であります。特に、オホーツ

ク圏のような地方に至っては深刻な状況にあります。

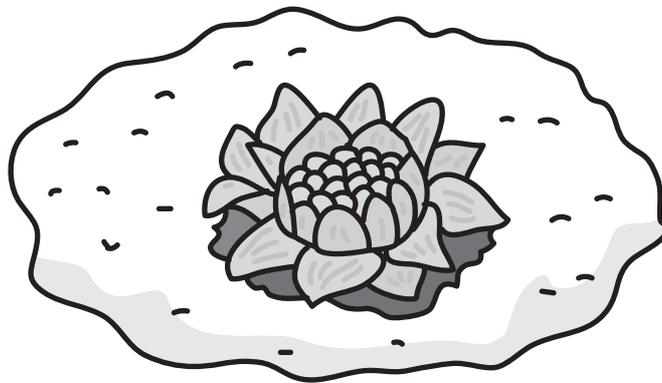
現在の状況は、民間工事に受注の基盤を移し、売上げの大半が民間工事中心で、建設業社の数もピーク時の80パーセントほどとなっております。

しかし、そこにチャンスは必ず存在すると思います。地域の雇用を生み出してきた中心にはいつも建設業界がありました。これまで、様々な面で地域に貢献してきたこの建設業界が全く無くなることは、有り得ないと考えます。

オホーツク圏電業協会は先に開催されました通常総会におきまして、7つの事業方針と、4つの委員会事業計画を立てました。

当電業協会会員各社の力を合わせ、業界の明るい未来を目指したいと考えています。

最後になりますが、北海道電業協会の益々のご発展と会員皆様のご繁栄、ご健勝を祈念申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。



## 技術講習会「電気設備技術者のための施工要領」

札幌会場 北海道電気会館



平成25年2月8日(金)午後1時30分から、北海道電気会館502会議室において「電気設備技術者のための施工要領」の講習会を開催した。受講者は会員企業の工事の実務担当者29名の方々参加了。

開催にあたり主催者を代表して、当協会の岡竹俊和技術安全委員長から「北海道は公共工事の減少などから全国平均と比べても一段と厳しい状況にあるが、技術力の向上や安全作業の継続など、できることを確実に実行して、この難局を乗り切っていただきたい」と述べ、さらに「施工上、一番基本となるのは図面だが、もらった図面をそのまま施工に反映し従業員に指示するのではなく、なぜこうなのかという疑問を持って欲しい」と強調された。最後に「本日の講習会では施工要領の知識を理解して頂き今後の仕事に役立てていただきたい」と挨拶された。

講師には、北海電気工事(株)電設工事部の今野正

章氏が(一社)日本電設工業協会本部から派遣された。

講習会では、(一社)日本電設工業協会が発行されたテキストと施工要領に関するPDF・CADデータを使い、施工図作成上の要点についてわかり易く解説された。

今野氏は施工要領書作成上の注意事項として、「経済性と品質の維持・向上に重点を置き、現場の環境、建築構造、設備内容、工程等の様々な条件を考慮し、適正・的確な施工方法を選定することが必要である。そのためには、日頃の業務の繁忙さに溺れず、新技術に関心を払い、創意工夫に留意し、QC、VEを日常の業務に導入することを心掛けて欲しい」とアドバイスされた。

受講者は、施工図や施工要領の作成に必要な知識に磨きをかけようと、熱心に講師の話に耳を傾けていた。



開講挨拶 岡竹俊和 技術安全委員長



講師 今野正章 氏

## 技術講習会「電気設備技術者のための施工要領」

釧路会場 釧路市交流プラザさいわい



平成25年2月14日(木)午後1時30分から、当協会と釧根電業協会との共催で、釧路市交流プラザさいわい1階大ホールにおいて「電気設備技術者のための施工要領」の講習会を開催した。受講者は釧根電業協会会員企業の実務担当者33名の方々が参加した。

開催にあたり主催者を代表して、釧根電業協会の新妻繁市会長から「北海道は公共工事の減少などから全国平均と比べても一段と厳しい状況にあるが、技術力の向上や安全作業の継続など、できることを確実に実行して、この難局を乗り切っていただきたい。さらに近年の建築物はIT化等により高度な機能が要求され、そのうえコストダウン等により施工図の作成も多様化し、その作成には多大な労力と費用を掛けなければなりません。そこで、本日の講習会では施工要領の知識を理解して今後の仕事に役立てていただきたい」と挨拶された。

講師には、北海電気工事(株)電設工事部の今野正

章氏が(一社)日本電設工業協会本部から派遣された。

講習会では、(一社)日本電設工業協会が発行されたテキストと施工要領に関するPDF・CADデータを使い、施工図作成上の要点についてわかりやすく解説された。

今野氏は施工要領書作成上の主な注意事項として4点をあげ「施工における経済性、信頼性、利便性、安全性を改善、向上していこうという姿勢が大切である」とアドバイスされた。

- ① 施工要領書は、原則として工事種別ごとに作成する。
- ② 一般的に常識的な事項については、省略する。
- ③ 施工方法はできるだけ部分詳細図、図表等を主体とし、わかり易いように記載する。
- ④ 図面には納まり、寸法、材料名称、材質等を記載する。



開講挨拶 新妻繁市 釧根電業協会会長



講師 今野正章 氏

## 電設業関連四団体懇談会



平成25年2月18日(月)午後4時から北電北二条クラブにおいて、当協会、北海道電気資材卸業協同組合、電設資材総合メーカー（3社）、(社)日本配電制御システム工業会北海道支部の4団体による懇談会を開催。各団体から17名が出席した。

はじめに、当協会の吉川会長から「厳しい経営環境が継続し、いろいろと課題もあるが、今後とも皆様と連携を図り、社会生活や産業活動を支える重要なインフラである電気設備の設置や保全に取り組みたい」と挨拶があった。

続いて、嘉部支部長から、今年度の事業計画について①新法人への移行、②品質保証制度について、③適正価値と適正受注について、④札幌市との勉強会の内容充実についての4つの柱について説明。また「当業界として最大の課題は後継者が育たないことである。将来を見据えた人材育成に取り組みたい」と挨拶された。

次に、三神理事長から「北海道の建設業は厳しい状況が継続しているが、地球環境にやさしい省エネ商品、さらに太陽光発電、LED照明器具の普及拡大など明るい材料もあるので、皆さんで力を出し合ってこの難局を乗り越えよう」と挨拶された。

引き続き各団体、メーカー各社から業界の現状と今後の見通し・対策などの報告があった。

最後に当協会の小川専務理事から昨年度実施された会員調査の実施結果から、電気設備工事業に係る受注状況・完成工事高の経年別推移について説明があり、それぞれ平成19年度をピークに減少している状況であった。また、平成24年度事業の重点事項と主な事業内容及び課題について説明した。

会議終了後の懇親会では、情報交換の場となり和やかな雰囲気の中で終了した。



吉川会長 挨拶



嘉部支部長  
(社)日本配電制御システム工業会



三神理事長  
北海道電気資材卸業協同組合



## 再生可能エネルギー推進都市～稚内市

稚内市長 工 藤 広



稚内公園からの桜

### 【稚内市の紹介】

稚内市は日本の最北端に位置し、人口約3万8千人、面積760.89km<sup>2</sup>、宗谷海峡を挟んで東はオホーツク海、西は日本海に面し、日本最北端の地である宗谷岬からわずか43kmの距離にロシア連邦サハリン州（旧樺太）を望む国境のまちです。

利尻礼文サロベツ国立公園を有し、多くの植物や原生動物が生息する豊かな自然に恵まれた、水産、酪農、観光を基幹産業とする宗谷地方の経済、産業の中心都市でもあります。



宗谷岬ウインドファーム

### 【再生可能エネルギーの活用】

本市は「人と地球環境にやさしいまち」を目指し、風、太陽光、雪等の地域の特性を活かした再生可能エネルギーの活用を積極的に推進しております。

#### ○風力発電

本市は全国有数の強風地域として知られております。全国的にも比較的早い時期から、この強い風を利用する風力発電の取り組みを進めており、現在市内では74基、総設備容量76,355kWの風車が稼働しております。

市所有の風車も4基あり、水道部では風力発電による電力を揚水ポンプや浄水場といった水道施設の動力として活用し、水道事業の経費節減を図るとともに、電力の地産地消の取り組みを推進しております。

また、宗谷丘陵に建設された「宗谷岬ウインドファーム（1,000kW×57基）」は国内最大級の風力発電施設であり、北欧を思わせるその風景は観光スポットとしても人気です。

### ○太陽光発電

本市が所有する「稚内メガソーラー発電所」は、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の研究施設として建設され、研究終了後に譲渡を受けた施設であり、設備容量5,020kW、敷地面積14haという国内最大級の太陽光発電施設です。大容量の蓄電池（NAS電池：1,500kW）もあり、発電した電力を蓄電することで、発電しない夜間等においても安定した電力供給が可能となっております。

エネルギーの地産地消の取り組みとして、発電した電力は近隣施設である市営大沼球場、北海道立宗谷ふれあい公園に供給しております。再生可能エネルギーを推進する本市を象徴する施設であり、年間1,600名を超える見学者が訪れます。

### ○自然冷熱利用貯蔵庫

自然冷熱利用貯蔵庫は、自然冷熱を利用した貯蔵庫における必要な製氷量や断熱性能等について、NEDO等により実証研究が実施された施設です。断熱材に覆われたD型ハウス式の貯蔵庫では、冬期間に窓を開放することで自然の冷気により貯蔵庫内部に設置している大型水槽で氷を製造し、春から秋にかけては製造した氷により貯蔵庫内を3℃以下に保つことが可能です。

実証研究が終了し、現在は地元民間事業者による貯蔵試験が行われております。主に、本市の勇知地区で採れ、稚内ブランドにも認定されている「勇知いも」を貯蔵しており、再生可能エネルギーを利用してさらに甘味を増した勇知いもは、東京等のレストランに出荷されています。



自然冷熱利用貯蔵庫



稚内メガソーラー発電所

### ○稚内市バイオエネルギーセンター

昨年4月から、本市の最終処分場における生ごみの中間処理施設である稚内市バイオエネルギーセンターが稼働しております。ごみの減量化の推進を主目的としており、家庭からの生ごみ等を微生物発酵により減容化しております。

同時に発生するバイオガス（メタンガス）は、バイオガス発電により電力や熱が処分場内で利用されるほか、CNG仕様のごみ収集車の燃料として利用されております。



稚内市バイオエネルギーセンター

ホームページアドレス

<http://www.city.wakkanai.hokkaido.jp/>



## 農に学び、食を活かした健康のまち～今金町

今金町長 外崎 秀人



北海道の南西部に位置する今金町は、日本海と太平洋に囲まれた、海に面していない内陸地域で、東西に27.5km、南北に35.3km、総面積は568.14㎡を有し、その8割が森林で占められています。町の中心部には、清流日本一に十数回輝いた「母なる川」後志利別川が東西に貫流して利別平野を形成し、土壌を肥沃にして「今金男爵」「軟白ネギ」をはじめ付加価値の高い農作物が生産されています。町の草創は、寛永年間頃、後志利別川上流においての砂金採取が始まりとされており、採取された砂金は日光東照宮の造営に用いられたと伝えられています。明治10年にはメノウのほか、マンガン・金・銀の鉱物資源も発見され、黄金の大地として人々の往来が盛んとなり、明治24年に志方之善が入植したのを皮切りに15戸が今金に入植し、今日のまちの基礎をつくりました。明治30年に瀬棚町（当時）から分村し、利別村となり、昭和22年の町制施行を機会に、開拓の先駆者であった今村藤次郎、金森石郎の二人の冠字をとって「今金町」と改称して現在にいたっています。

### 【今金男爵】

今金町は、開基以来、古くはメノウや金の産地として栄え、現在では、清流後志利別川が流れる肥沃な大地の恵みを生かした、米、馬鈴薯、軟白長ネぎをはじめとする高品質な農畜産物の供給基地として発展しています。

なかでも、市場価格の高い今金男爵は、昼夜の寒暖差が大きい内陸性の気象条件が生育に適しており、澱粉質をたっぷり含んでいます。味はもちろんのこと、肌や形状の美しさは男爵というより貴婦人といった品格が漂います。特に関東圏では人気があり、プライスリーダーとして長年その地位を守り続けています。



### 【山奥の秘湯 奥美利河温泉山の家】

町内の美利河地区にひっそりとこまえる、知る人ぞ知る山奥の秘湯として愛され続けている野趣あふれる温泉、奥美利河温泉山の家。特に新緑や紅葉の季節は山々が美しく、すこしぬるめの湯にゆっくりと浸かると都会の喧噪を忘れさせてくれます。露天風呂では、森のマイナスイオンをたっぷりと浴び、夜には満天の星空も眺められます。



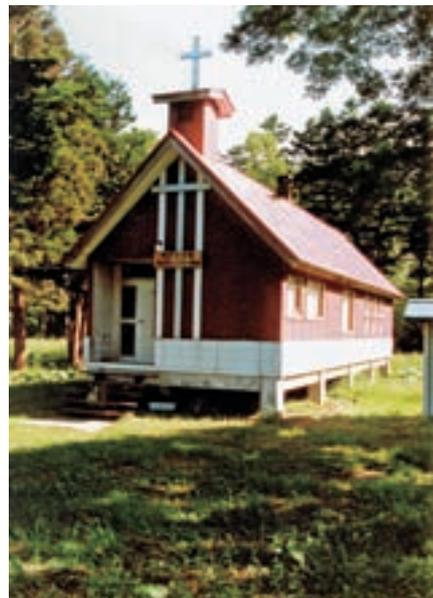
### 【ピリカ旧石器文化館】

ピリカ遺跡は縄文時代よりも前の旧石器時代、今からおおよそ2万年前の遺跡です。遺跡の広さは札幌ドームの屋根4個分くらいの広さがあり、石器を作ったり、火をたいたりした場所が大量の石器とともに発見されました。なかでも、珍しい玉やきれいなやり先形尖頭器があり、重要文化財にも指定されています。遺跡自体もその重要性から国の史跡に指定されています。旧石器文化館では、重要文化財などの石器を展示しており、石器づくり体験などもできます。



### 【インマヌエル教会】

日本人初の女医、荻野吟子とその夫の志方之善をはじめとするキリスト教徒が、明治24年以降に理想郷を築こうとした土地に建てられた小さな教会です。ヘブライ語で「神我と共に在ります」という意味を持つインマヌエルの丘の林間で記念碑とともに歴史の息吹を伝えていきます。



### 【ご当地グルメ『今金男爵ポテサラごはん』】

3月31日にデビューする今金町の新しいご当地グルメが今金男爵ポテサラごはん。「その年の男爵いもの価格は、今金男爵で決まる！」と言われるほど、今金男爵は男爵いも市場を牽引する存在です。しかし、残念ながら今金男爵はほとんど東京や大阪の市場に出回り、北海道では食べるチャンスはめったにありません。今金男爵ポテサラごはんは、北海道では幻的存在の今金男爵を使った〈定番ポテサラ5種類+オリジナルポテサラ5種類〉を味わえる、三段重の贅沢御膳です。



## 電気設備施設見学会



平成25年2月27日(水)会員企業の技術向上と最新設備の見聞を深めるため、見学会を実施した。今回の見学施設は、北海道計器工業(株)さんで、会員企業8社11名が参加した。

北海道計器工業(株)は、昭和29年に創立し、札幌市中央区北5条西17丁目で事業を行っていたが、工場が狭くなったため、平成18年に西区発寒に移転。業務内容は主に、北海道電力で使用する電力量計類の製造販売と修理、それと検定に係る事業を行っている。特に多いのは、一般家庭に取り付けられている電力量計の修理が約31万台/年、製造が約5～6万台/年となっている。電力量計の他に、安全ブレーカー、タイムスイッチ、変成器、計器用変成器の修理と製造も行っている。

最初に計器部の林秀一課長から、施設の概要について説明があり施設見学に向かった。

最初の見学施設は、安全ブレーカーとタイムスイッチの製造ラインで、ここでは機械化されている部分もあるが、人手にたよる作業が多く、ベテランの女性作業員が手際よく細かい部品を組み立てていた。



次の施設は、検定期間の満了などで長年使用されて取り外されてきた電力量計の修理工程施設。

計器修理の工程は「塗装分解、組立、調整」の3つに分かれている。

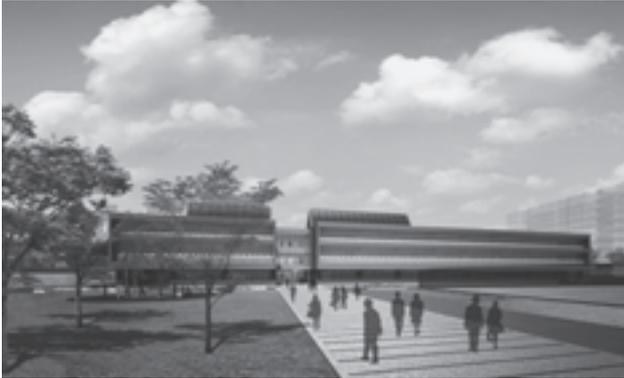
まずロボットによって1台ずつ検定封印を取り外し、次のロボットが外側のほこりをブラシで落とし塗装を行ってから分解工程に入る。ガラスカバーを外された電力量計は、まず、数字がついている計量器を外しバラバラにされ、最後に回転円板が外される。分解された部品は再使用されるので、一台一台手作業で丁寧に分解されていた。

次の組立、調整工程は、出来上がりの品質に大きく影響するので、研修を受けた有資格者が従事していた。本体に軸受と円板を取り付けて、正常に回転するように調整。最後に組み立てられた電力量計が、正しく計量しているか全ての電力量計について試験をして、法律で定められた誤差試験範囲に入っているものだけを合格としていた。

最後に、平成18年に新社屋建設時に設置した地中熱ヒートポンプ冷暖房システムを見て、見学会を終了した。



## 現場からこんにちは



**工事名称：**手稲中学校改築強電設備工事  
**工事場所：**札幌市手稲区富丘3条5丁目4-1他  
**工期：**平成24年6月18日～平成25年3月12日  
**工事規模：**(校舎棟)鉄筋コンクリート造  
地上3階 8,845㎡  
(渡り廊下棟)鉄筋コンクリート造平屋  
50㎡

**発注者：**札幌市

**施工業者：**亜細亜電気工事株式会社

### 【工事概要】

#### 〈受変電設備〉

・動力設備 3相3線6.6kV/200V  
モールド200kVA 省エネ変圧器  
×1台

・電灯設備 単相3線6.6kV/100/200V  
モールド200kVA 省エネ変圧器  
×1台

〈幹線設備〉 ケーブルラック 幅300～800mm  
金属電線管・エコケーブル

〈動力設備〉 消火ポンプ、給水ポンプ、暖房ボ  
イラ、ペレットボイラ、エレベ  
ータおよび給食室の電源供給および  
監視制御

#### 〈電灯設備〉

・省エネ対策としてセンサー制御に加えHF蛍  
光灯、一部にLED照明を採用

・照明及び換気設備の一括制御(リモコン制御)

#### 〈太陽光発電〉

・太陽光発電設備 30kW (261W×116枚)

・太陽光発電コンセント盤設置 9kVA

手稲中学校は昭和22年に開校され、翌年23年には新校舎を建設し4教室でスタートしました。以降、増築を重ね、平成24年4月現在では教職員は47人、22学級(特別支援3学級を含む)を有し、718人の生徒が学んでいます。

今回の工事は同一敷地内に新校舎を建設するための強電設備工事です。手稲中学校がある場所

は、印象的な山裾の風景が特徴で、建設する建物は大規模なため、自然や周辺住宅の景観に配慮し、既存地形の高低差を活かした配置として、手稲区のシンボルとなる中学校を目指しています。そのため建物は凹凸の少ないシンプルな外観ですが、既存校舎よりも高さを低減したことにより、日影の影響や周囲への圧迫感が軽減されるように配慮しています。

また、自然エネルギーを利用するため、吹抜け上部にはガラス屋根を設置しており、トップライトとして自然光を取り入れるだけでなく、夏季には各教室の熱気をドラフト効果で排出する効果があります。また、このトップライトには30kWの太陽光発電パネルが設置されています。



現場の取材は2月に行い、亜細亜電気工事(株)の佐々木所長にお話を伺いました。現場は躯体がほぼ出来上がっており、現在は内装工事が本格的で、それに伴う幹線・電灯の施工が盛んに行われている状況でした。現場は3人体制で進められており、強電設備工事の現在の進捗状況は約80%との事でした。

佐々木所長に施工上の注意点などお聞きしたところ、工事現場は既存校舎と同一の敷地内に建設されるため、生徒の出入りや周辺住宅への影響を特に注意して工事を進められているとのことでした。

しゅん功まで残り1カ月、作業はますます忙しくなりますが、4月から新校舎で学ぶことを楽しみにされている生徒さん達のためにも、素晴らしい校舎が完成する事を期待しております。

(取材 広報委員会 井草貴弘、内川勝哉)



右から亜細亜電気工事(株)佐々木現場代理人、石川主任

## 分離発注訪問記

オホーツク圏電業協会地区（オホーツク振興局管内）の自治体は、現在17市町村であります。平成23年度の分離発注要請対応記録表によりますと、発注形態が分離である自治体は12市町村、一部分分離発注が5町村であります。

この度、オホーツク圏電業協会の役員が手分けをして、北見地区、斜網地区、遠紋地区を訪問させていただきました。

殆どの自治体で分離発注の形態が採用されていると言えます。また、一部分分離発注とされている自治体も、主要な工事については分離発注の形態をとっているとのことでした。

このことから、分離発注形態というものが深く浸透し、定着しているというのが印象でありました。ある自治体におきましては「今更に要請でもないのでは？」というような感触もありました。

今回は投稿するにあたり、紋別市建設部建築住宅課長であります稲葉宏剛氏に事情を説明し、お願いをいたしました。

議会開催中の折、お忙しいにも係わらず快諾をいただき写真撮影にもご協力をいただきました。本当に有り難うございました。

紋別市においては分離発注が定着しております。かなりの少額工事でも分離しているとのことあります。また数年前には、指定建設業の7業種以外の業種においても分離発注した事実があるとのことでした。

引続き、分離発注の継続と地元企業への発注をお願いしたところであります。

前述の通り、確かに分離発注という形態は定着しており、多くの自治体はその形態を採用しております。

しかし近年、地方においては発注工事量が少なくなり、財政事情の厳しい場合には一括発注によりコストダウンを図るといような話を耳にすることがあります。そういったことから、分離発注のお願いは引き続き継続して行うべきだと考えます。

最後に、この訪問に快く対応して頂いた関係者の皆様に心より感謝申し上げます、ご協力頂いた役員の皆様にはお礼を申し上げます。

記 オホーツク圏電業協会  
会長 山本 義明  
(山本電工(株) 代表取締役)



紋別市建設部建築住宅課 稲葉宏剛課長（右）と面談する山本会長

## ～シリーズ～ 「私のいちおし」

島津電設(株)

代表取締役 嶋 津 博



落ち着いた雰囲気のお店構え オーナーの牧勝美さん (右)

♪～My Favorite Things～♪

グルメと言わないまでも、自分が生まれ育った場所柄、札幌でも美味しいと言われるお店が近所に数多くありました。

「ラーメンの三平」も「すし善」も発祥地は歩いて1分圏内。そんな環境で育ったものだから広報委員長のH社長までは極めていないものの舌にはチョット自信あります。当然、友人や先輩達にオススメのお店を紹介されるのですが、ハズレも多い。今までどれだけのお店に行ってガッカリしたことか…。

思うに札幌にはお洒落なお店や美味しいお店はたくさんあるのだが、この2つを両立しているお店は中々ない。お店の雰囲気はいいのだけど味が？だとか。味はいいのだが雰囲気がイマイチ…。など、よくある事で皆様も感じているのではないだろうか？。

そんな中で今回私が紹介するお店は“円山銀座園”です。ススキノで50年にわたり営業しグルメをうならせてきたお店である。

4年前にこの地に移り、メニューを一新。“季節のおまかせメニュー”とし韓国料理を食べながら、お好みの焼肉をつまむのだが、これが最高に美味しい。



お洒落で上品にまとまった店内

店内も上品にまとまっており、札幌でも数少ない味と雰囲気が両立しているお店です。

お店の料理はすべてオーナーの牧勝美さんが作っています。勝美さんは韓国料理の本を出版するほどの研究家で、古くから料理教室を開いたりしており、お店の庭の畑でもサンチェやエゴマなどを育てお店の食材にしています。焼肉のほうは半世紀にわたって受け継がれている秘伝の“タレ”を使いお客さまを虜にしています。

そんな円山銀座園に敬意をはらい今回ご紹介させて頂きました。

♪～My Favorite Things～♪なのである



いちおしの焼肉にニッコリ

○円山銀座園

住 所 札幌市中央区南3西22 2-2

電 話 011-215-4878

営業時間 PM 5時～PM11時

定休日 水曜日

次回の「私のいちおし」は

(株)北弘電社 代表取締役社長  
中野 章さん



# ビジネスマンは これを読め！



(株)久住書房 社長 久住邦晴

「なぜだ?!売れない文庫本」をはじめ、全国の書店に波及した「本屋のオヤジのおせっかい、中学生はこれを読め！」など独創的な企画で注目を集める、くすみ書房社長の久住邦晴氏（北海道書店商業組合理事長）おすすめの一冊をご紹介します。

## 「ひろいもの」



「ものとの出会いで  
自分が変わる運命の  
物語」

著者：山本 甲士  
出版社：小学館文庫  
定価：670円

先日、東京出張の時に寄ったJRお茶の水駅前の丸善さんでとても面白そうな本を見つけました。この店には業界では有名な文庫担当の方がいて、この店独自のおすすめの文庫本にPOPを付けて平積みしているコーナーがあります。おもいがけない本もあるので時々寄って何冊か買っていきます。読んで気に入れば、うちの店にも置きます。先日は3冊買って2冊がよかったので、すぐ発注しました。入荷した本を自分の店で全てチェックするのは無理ですのでそんなことをして情報を集めています。

さて、見つけた本は「ひろいもの」。小説です。この本は人生に躓いた人たち、たとえば人と

コミュニケーションをとるのが苦手な対人恐怖症のバイト店員、喧嘩早くて客とのトラブルが絶えずなく転職を繰り返す元不良、いじめが原因で3年間引きこもっている元高校生。そんな人たちがあつまるものをひろうことで自分を変えていくのです。引きこもりの元高校生はやりたいことも見つからないし、他人の前に出るだけで緊張してがちがちになってしまうのでコンビニで買い物も出来ません。自分でもまともな人間ではないとっていて自己嫌悪に陥ってばかりです。そんな彼がある日ゴミ捨て場でハンドグリップ（握力を鍛えるV字型の器具）を拾います。部屋に戻って何回かやってみると疲れるけれど前腕がパンパンになった感覚は悪くありません。「よし、じゃあまたやるか」と翌日もやってみます。まともな人間になるための第一歩という気持ちもあったので毎日続けていきました。やがて確実に両手の前腕が一回り太くなっていることに気が付きました。体にエネルギーも満ちているようです。気を良くして更に別のトレーニングも増やしていき心身ともに劇的に変わっていきます。変わってからの後半は痛快です。

喧嘩早い元不良が警察手帳をひろい、対人恐怖症のバイト店員はセカンドバッグをひろったことがきっかけで劇的に変わります。

作者の山本甲士は目立たない作家ですが、行き詰った人に小さな奇跡が訪れる作品を多く書いており、気になる作家のひとりです。人が変わり、成長していく小説は大好きです。読むと元気になれるそんな一冊です。

# お 知 ら せ

## ○平成25年度電気工事施工管理技士受験準備講習会

### 1 級学科

#### 【申込受付期間】

平成25年2月22日(金)から4月12日(金)まで(定員になり次第締め切り)

#### 【申込方法】

- ・所定の申込用紙により(一社)日本電設工業協会北海道支部宛にFAX
- ・申込用紙は、(一社)北海道電業協会にて取り扱う。

#### 【開催日】

平成25年4月24日(水)～4月25日(木)2日間

#### 【開催場所】

北海道開発協会会議室

(札幌市北区北11条西2丁目セントラル札幌北ビル6F) 電話011-709-5211

#### 【検定試験日】

平成25年6月9日(日)

### 1 級実地

#### 【申込受付期間】

平成25年7月19日(金)から8月7日(水)まで(定員になり次第締め切り)

#### 【申込方法】

- ・所定の申込用紙により(一社)日本電設工業協会北海道支部宛にFAX
- ・申込用紙は、(一社)北海道電業協会にて取り扱う。

#### 【開催日】

平成25年9月2日(月)1日間

#### 【開催場所】

北海道開発協会会議室

(札幌市北区北11条西2丁目セントラル札幌北ビル6F) 電話011-709-5211

#### 【検定試験日】

平成25年10月20日(日)

## ○平成25年度登録電気工事基幹技能者認定講習会

### 【申込受付期間】

平成25年8月1日(木)から8月30日(金)まで

### 【開催日】

平成25年10月26日(土)～10月27日(日) 2日間

### 【開催場所】

北海道電気会館

(札幌市中央区大通東3丁目)

### 【受講資格者】

(1) 認定講習を受講できる者は、次の条件を全て満たす者とする。

- ① 第一種電気工事士の免状取得後、電気工事の直接施工業務に従事して、5年以上の実務経験を有する者。
- ② 電気工事の直接施工業務に従事して該当する建設業の種類につき10年以上の実務経験があり、労働安全衛生法第60条による職長教育を終了して、受講前日までに3年以上の職長経験を有している者。

(2) 条件を満たす証明書類は次の書類を添付する

- ① 実務経験については、事業主が証明した実務経験証明書。受講者が事業主の場合は、記載事実と相違がない旨の誓約書(署名、捺印)が必要
- ② 第1種電気工事士免状の写し、また職長経験については、同実務経験証明書と労働安全衛生法第60条による職長教育終了証の写しを添付する。

### 【受講料】

18,000円(受講料には、受講費、教材費、認定関係費が含まれます)

8,000円 平成24年度の認定講習会・試験で不合格通知を受け、試験のみ受験する者。

### 【申込方法】

所定の申込用紙により(一社)日本電設工業協会北海道支部に提出。

申込用紙は、(一社)日本電設工業協会のホームページからダウンロード願います。

### 【電気工事基幹技能者の認定・特典】

認定講習を受講し、終了査定(試験)に合格した者は、「登録電気工事基幹技能者」として認定され、(一社)日本電設工業協会会長から「登録電気工事基幹技能者証」が交付される。また、建設業法第27条の23第3項経営事項審査の項目及び基準を定める件(国土交通省告示第85号機関技能者関係)により登録基幹技能者は技術職員の加点として3点が、平成21年度より認められることになった。

## ○登録電気工事基幹技能者講習修了証更新手続きについて

平成20年4月の建設業法施行規則の改正に伴い、一般社団法人日本電設工業協会は登録電気工事基幹技能者講習実施機関として認可を受け、平成20年度より認定講習を実施。平成24年度までに特例講習を含め7,101名が認定されています。

認定の有効期限は5年と定められておりますので、早い方で平成25年7月が満期となるため、以下の更新手続きが必要となります。

### 【更新手続き方法】

その年の更新対象者に対して、(一社)日本電設工業協会から登録の自宅住所に「更新のご案内」を3月末までにお送りいたします。

### 【更新手続きの流れ】

- ① (一社)日本電設工業協会HPから各自で(4.更新申請書)をダウンロードする。
- ② 更新申請書に所定の項目を記入する。
- ③ 更新手続きに必要な種類を貼付する。
- ④ 更新申請書を(一社)日本電設工業協会へ郵送する。
- ⑤ (一社)日本電設工業協会から、読本(テキスト)と更新レポートが届く。
- ⑥ 更新レポートに回答を記入して(一社)日本電設工業協会へ戻す。
- ⑦ (一社)日本電設工業協会に届いた更新レポートを委員会で内容審査後に新しい修了証を発行して本人宛に発送する。
- ⑧ 修了証更新手続き終了。

下記1～4の詳しい内容は、(一社)日本電設工業協会のHPに掲載されております。

1. 必要証明書類
2. 更新手続きの受付と失効
3. 読本による通信教育と更新修了証の発送
4. 受付場所と手数料振込先

## 業界だより

○法人職務執行者等の変更

平成25年 1月28日付

・オホーツク圏電業協会

(新) 会長

山本 義明

(旧) 〃

石澤 信勝

## 理事会・委員会報告

### || 理 事 会

◇平成25年 1月24日(木) 12:00~13:30

#### 第6回議題

##### 【協議事項】

1. 会費規程第3条に基づく等級格付けの見直し及び平成25年度の会費収入額の算定について
2. 平成24年度電設業関連4団体懇談会の開催について
3. 電設協山口会長と北海道支部との意見交換会の日程調整について

##### 【報告事項】

1. 本部政策委員会第247回の開催概要について
2. 登録電気工事基幹技能者認定専門委員会の開催概要について
3. 平成24年度技術講習会について
4. 平成24年度赤レンガ建築賞表彰式について
5. 平成24年度電気設備現場見学会の開催について
6. 会員企業の営業所所在地等の変更について
7. 平成25年電気関係賀詞交歓会収支報告について
8. 平成25年 1月~3月の行事予定
9. その他意見交換

◇平成25年 3月28日(木) 12:00~13:30

#### 第7回議題

##### 【協議事項】

1. 平成24年度第2回評議会の開催について
2. 電業協会功績表彰者について
3. 役員選任の対応について
4. 定時総会(第47回、57回)までのスケジュール
5. 電業協会第47回定時総会付議事項について
6. 電設協道支部第57回定時総会付議事項について

##### 【報告事項】

1. 本部第248回政策委員会の概要報告
2. 本部・支部事務連絡会議の概要報告
3. 平成24年度電設業関連四団体懇談会の概要報告
4. 平成24年度技術講習会の開催結果について
5. 平成25年度技術・安全衛生基礎教育講習会の開催について
6. 団体会員代表者の変更について
7. 平成25年 4月~5月行事予定
8. その他意見交換会

## || 三 役 会

◇平成25年 1月15日(火) 12:00~13:30

### 第10回議題

1. 会費規程第3条に基づく等級格付けの見直し及び平成25年度の会費収入額の算定について
2. 北海道電業協会の現況と課題(案)  
(本部3月理事会資料用)
3. 平成24年度電設業関連4団体懇談会の開催
4. 本部政策委員会第247回の開催概要
5. 登録電気工事基幹技能者認定専門委員会の開催概要について
6. 平成24年度技術講習会
7. 本部・支部事務連絡会議の開催
8. 北海道設備設計事務所協会平成25年新年交礼会
9. 平成24年度北海道赤レンガ建築表彰式
10. 会員企業の営業所所在地等の変更について
11. 平成25年1月~2月行事予定
12. その他意見交換

◇平成25年 2月18日(月) 15:00~15:45

### 第11回議題

1. 電設業関連4団体との懇談会
2. 役員選任の対応
3. 本部・支部事務連絡会議の概要
4. 平成24年度第2回評議会(兼地区代表者会議)の開催
5. 平成24年度技術講習会
6. 北海道空調衛生工事業協会定時総会後の懇親会
7. 札幌弱電設備業協同組合第34回通常総会後の意見交換会
8. 団体会員代表者の変更
9. 平成25年電気記念日表彰式典の案内
10. 北海道建築士事務所協会定時総会後の意見交換会
11. 平成25年2月~3月行事予定
12. その他意見交換

◇平成25年 3月11日(月) 12:00~13:30

### 第12回議題

1. 役員選任の対応及び常設委員会の体制(案)
2. 定時総会(協会第47回、支部57回)・懇親会スケジュール
3. 電業協会功績表彰者の推薦
4. 平成25年度技術・安全衛生基礎講習会(新人研修)の開催
5. 北海道電気エネルギーを考える会が主催する講演会の共催
6. 平成24年度電設業関連四団体懇談会の概要報告
7. 北海道建築士会通常総会後の懇親会のご案内について
8. 支部賛助会員退会届の受理について
9. 平成25年3月~4月行事予定について
10. その他意見交換

## 総務委員会

◇平成25年3月7日(木) 12:00~13:30

### 第4回議題

1. 平成24年度事業実施状況及び平成25年度事業計画
2. 平成25年度電業協会功績者表彰者の推薦
3. 定時総会・懇親会スケジュール(案)
4. 定時総会付議事項「一般社団法人移行の報告(案)」
5. 平成24年度第2回評議会(兼地区代表者会議)の開催
6. 平成25年度技術・安全衛生基礎教育講習会の開催について
7. 本部・支部事務連絡会議の概要
8. 平成24年度電設業関連4団体懇談会の概要
9. 団体会員代表者の変更
10. その他意見交換

## 経営委員会

◇平成25年3月14日(木) 12:00~13:30

### 第5回議題(議長:水口副委員長)

1. 第4回議事録(案)の承認
2. 電設協第248回政策委員会の開催概要
3. 平成24年度経営委員会事業活動状況
4. 平成25年度経営委員会事業計画(案)
5. 本部・支部事務連絡会議開催概要
6. その他意見交換

## 広報委員会

◇平成25年3月15日(金) 15:00~16:30

### 第4回議題

1. 平成24年度事業実施状況
2. 平成25年度事業実施計画(案)
3. 会報「夏号」編集方針
4. 会報「春号」校正
5. その他意見交換

## 技術安全委員会

◇平成25年3月8日(金) 12:00~13:30

### 第4回議題

1. 実施報告  
・技術講習会の実施  
(電気設備技術者のための施工要領)
2. 平成24年度技術安全委員会事業報告
3. 平成25年度技術安全委員会事業計画
4. 講習会のお知らせ  
・平成25年度電気工事施工管理技士受験準備講習会 1級学科・1級実施  
・平成25年度「技術・安全衛生基礎教育講習会」(新人研修)  
・平成25年度登録電気工事基幹技能者認定講習会
5. 本部・支部事務連絡会議 概要
6. 総会までのスケジュール
7. その他意見交換

## 厚生委員会

◇平成25年3月18日(月) 16:00~17:00

### 第2回議題

1. 平成24年度各部会行事实施報告
2. 平成25年度厚生委員会事業計画(案)
3. 平成24年度決算及び25年度予算(案)
4. その他意見交換

## 事務局日誌

- 1月8日(火)・官公庁新年挨拶  
10日(木)・電気関係三団体賀詞交歓会  
(グランドホテル) 吉川会長ほか  
11日(金)・本部電設協会賀詞交歓会  
吉川支部長  
15日(火)・第10回三役会議  
22日(火)・北海道設備設計事務所協会  
新年交礼会  
(京王プラザホテル) 山口副会長  
・札幌商工会議所 特別講演会  
(札幌パークホテル)  
24日(木)・第6回理事会・常議員会  
31日(木)・本部常任理事会  
(東京) 吉川支部長他
- 2月5日(火)・平成24年度北海道赤レンガ  
建築賞表彰式  
(ポールスター札幌) 小川専務理事  
7日(木)・本部・支部事務連絡会議  
(東京) 小川専務理事  
8日(金)・技術講習会 (電気会館)  
「電気設備技術者のための  
施工要領」  
14日(木)・技術講習会 (釧路交流プラザ)  
「電気設備技術者のための  
施工要領」  
18日(月)・第11回三役会議  
・電設業関連4団体懇談会  
(ほくでん北二条クラブ)  
22日(金)・歌唱部会  
27日(水)・電気設備施設見学会  
27日(水)・道空衛工事業協会  
総会・懇親会  
(ホテル札幌芸文館) 吉川会長
- 3月5日(火)・ゴルフ部会  
7日(木)・第4回総務委員会  
・札幌弱電設備業協同組合  
総会・意見交換会  
(ライフオート札幌) 樋口副会長
- 8日(金)・第4回技術安全委員会  
・本部政策委員会  
(東京) 山口副会長  
11日(月)・第12回三役会議  
14日(木)・第5回経営委員会  
15日(金)・第4回広報委員会  
・北海道建築士事務所協会  
総会・意見交換会  
(札幌全日空ホテル)  
山口副会長  
18日(月)・第2回厚生報委員会  
22日(金)・本部理事会  
(東京) 吉川支部長  
25日(月)・電気記念日祝賀会  
(札幌グランドホテル)  
28日(木)・第7回理事会  
・第2回地区代表者会議  
(評議員会)

## 当協会は4月1日より一般社団法人へ移行いたしました

(社団法人北海道電業協会→一般社団法人北海道電業協会)

当協会は、昨年5月の第46回通常総会の決議を受け、一般社団法人移行への対応について諸準備を進めてまいりましたところ、この度、北海道知事より一般社団法人への移行認可を受けて移行登記を完了し、平成25年4月1日付をもって一般社団法人北海道電業協会に移行いたしました。

平成20年12月に公益法人制度改革関連3法が施行されて以降、会員の皆さまには、新法人への移行につき多大なるご支援、ご協力を賜り改めて厚くお礼申し上げます。

### 一般社団法人 北海道電業協会活動スローガン

1. 電気設備工事業界の将来を担う優秀な人材を確保するとともに、技術・技能の継承を促進し、将来に繋がる人材を育成しよう
2. 適正な価格・適正な工期での受注を確保し、優良な施工体制と品質で、健全で公正な競争市場を構築しよう
3. 地球環境保全を推進し、安心・安全な社会を実現するため、省エネルギー対策の強化と再生可能エネルギーの活用に積極的に取り組もう
4. 品質と価格の透明性を確保するとともに、対話を通じて顧客満足度の高いサービスを提供するため、分離発注を強力に推進しよう

## 編集後記

この冬は、札幌の積雪もピークで130cmを超え、これは13年振りの大雪だそうですが、多くの方が日々の除雪などご苦労されてきたことと思います。ここ数日（この原稿書いているのは3月中旬）、ようやく雪解けも進み、皆様、春の新緑に想いを馳せているところではないでしょうか。

まずは、この度会報「春号」の発刊にあたり、北海道産業保安監督部の清水篤人部長様には巻頭言にご寄稿いただき、厚く御礼申し上げます。昨年約30年振りに北海道に赴任され、久々に厳しい冬の生活を体感されたとのこと。「市民が快適な生活を享受する陰には、社会インフラの整備や維持管理を担う関係者達の多くの努力がある。」改めてこのことに着目され、中でも、電気設備に携わる私ども業界のことにもご配慮をいただいておりますこと、心から感謝申し上げる次第です。

さて、昨年末の政権交代を契機に、安倍新政権の打ち出す数々の政策によって、景気もようやく長い冬を脱し「春」を迎えつつあるような様相です。一挙に公共事業に多額の予算が付いたところですが、民間建築でも消費税増税を目前に駆け込み需要があり、また、メガソーラーの申請も殺到しているようで、平成25年度は、逆に工事が一気に集中し過ぎる懸念も出てきたようです。資機材や作業者だけでなく現場代理人も不足するような事態も予測出来ませんが、私どもの業界としても、決して混乱することなく、安全を最優先に、より良い品質の施工を心掛けて取り組んで行ければと思っております。

「この景気浮揚が決して短期に留まるのではなく、ぜひ長年続いて欲しい、……。」

最後に、このことを切に祈念し、編集後記といたします。

広報副委員長 伏木 淳



発行 平成25年4月  
一般社団法人 北海道電業協会  
札幌市中央区南1条東1丁目3番地  
パークイースト札幌6階  
TEL (011)271-2932  
FAX (011)271-2952  
E-Mail:dodenkyo@estate.ocn.ne.jp